

平成28年度 社会福祉法人 桐生会

高齢者総合福祉施設 桐生園 事業報告

施設長 山本 和彦

【事業総括】

平成28年は更なる地域貢献の一環として、新規事業 特別養護老人ホーム夕照たまのうら 開設に向け、事業の進捗状況を把握した上で「過ごしやすい」「働きやすい」を合言葉に入居者・利用者・職員相互に魅力ある施設環境づくりに努めた。

また多様で高度な介護サービスに応えるため、ケアプランに沿った記録、安全と安心の追求、他職種連携の3つをテーマに入居者・利用者の満足度向上に努めた。

【重点項目】

1、人材確保と育成

①人材の確保

・新規事業開設に向けた人材確保PR活動として、ホームページを刷新した。従来の新聞折り込みを中心とした求人活動ではなくフリーペーパーやネット媒体を活用した結果、常勤職員24名の採用を実施した。なお常勤職員の離職率は平成27年度29.6%からやや改善し25.3%となっている。

②人材育成

・ブラザーシスター制度を用いた新人指導方法は定着の兆しがあり、各課の実情に合わせた形で進行している。また、28年度後半からは各課責任者による初日指導が開始され、各課責任者自ら職場環境改善及び定着率向上への取り組みが本格化している。

・外部研修への派遣は、97回の派遣、148名の参加、また毎月1回開催している内部研修は平均参加者43.6名であった。この内部研修は参加者数減少傾向ではあるが、各課責任者が講師役となつての開催であり、各課責任者の資質向上に繋がっている。

2、入居者・利用者の満足度向上

①安全と安心の向上

・特養個室にて年間を通じて骨折等の重大事故が4件から0件へ減少した。適切な入居者ケアと情報共有の徹底により、入居者一人一人の安心感が高まったことにより安全確保が図られた。このノウハウを新規事業への足掛かりとしたい。ただし、多床室に至っては依然、減少傾向とはならず課題が残った1年であった。

②他職種連携強化

・理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士、看護師、介護職員、介護支援専門員等、様々な専門職種がカンファレンスや看取り介護等の協議を通じ、各職種が自らの専門性を高めると共に、互いの専門性を理解し合えた成果として、近老協にて他職種連携をテーマにした実践報告をすることが出来た。

③ケアプランに沿ったケアの提供と記録の更なる充実

◆ショートステイ

28年度は、数年来ショートステイを定期利用されていた利用者の11名が特養入居され、7名が長期入院となりショートステイ利用者減少の危機であったが、各居宅介護支援事業所への利用者紹介依頼の働きかけを強化実施、その結果、年間新規利用者41名を獲得した。1回あたりの利用日数が短いこと、介護者私用時のみの利用等が目立ち、実利用者数の大幅な増加には至っていない。

しかし、28年4月は10.3人/1日から29年3月は11.2人/1日と次年度以降の稼働率回復への期待が持てる状況ではある。

・利用状況（定員13名※空床利用含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平均要介護度	2.76	2.73	2.77	2.53	2.63	2.57	2.60	2.52	2.45	2.71	2.64	2.68	2.63
実利用者数	39	41	40	43	45	41	50	49	44	47	37	44	520
延べ利用者数	311	368	327	320	346	323	362	370	331	364	264	350	4036
一日平均利用者数	10.3	11.8	10.9	10.3	11.1	10.7	11.6	12.3	10.6	11.7	9.4	11.2	11.0
新規利用者数	1	1	0	4	6	5	6	6	2	6	0	4	41
稼働率(%)												84.6%	

【在宅サービス部】

◆デイサービスセンター

デイサービスセンターでは、機能訓練指導員（理学療法士）による個別機能訓練加算Ⅰと機能訓練指導員（看護師）による個別機能訓練加算Ⅱの複数のプログラムが提供できる体制を整備出来た。ご利用者の自立支援を目指し、訓練結果として64%の身体機能の維持向上が認められた。

新規利用者獲得に向けての取り組みは、地域のシニアクラブなどとの「体験デイサービス」の継続と青山地区のシニアサロンには認知症予防や介護予防体操の講師として参加し、当センターのPRを実施、地域との関係性を深めることが出来た。職員教育については、外部研修の参加と報告会に加え、事業所内で理学療法士を中心に基本的な介護技術の勉強会を実施し資質向上を図った。

・利用状況（定員35名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	724	706	683	729	749	738	749	685	632	573	603	680	8251名
営業日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311日
1日平均利用者数	27.8	27.2	26.3	28.0	27.7	28.4	28.8	26.3	23.4	23.9	25.1	25.2	26.5名
新規利用者数	2	1	0	1	1	0	3	0	2	1	0	3	14名
利用廃止者数	0	2	0	1	4	0	2	1	4	1	0	1	16名
稼働率(%)												75.7%	

・利用者の要介護度（平成 29 年 3 月末現在）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
利用者数	3	8	19	27	15	3	4	79

◆デイサービスセンターなのはな

平成 28 年 4 月の介護保険制度改正に伴い桐生園デイサービスセンターのサテライトとして、デイサービス事業規模区分を小規模から大規模へ変更した。なのはなデイ登録利用者の内、約 75%の方が認知症を有しておられるため、ご利用者個々の「私の暮らし方シート」の作成を行い、ケアの充実を図ることが出来た。新規利用者獲得に向けては、本体の桐生園デイサービスと合同で、各居宅介護支援事業所に空き状況の発信や訪問時にはケアマネジャーと情報交換を行い関係性を深めることが出来た。

なお、あったかホームなのはなサテライト化により事業運営していないが、地域交流の場を提供する意義を鑑み、なのはなコンサート開催は継続しており、地域住民約 30 名の集いの場を提供した。

・利用実績（定員 10 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ利用者数	195	174	179	182	172	182	168	157	157	132	157	174	2029
営業日数	26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309
1 日平均利用者数	7.5	6.7	6.9	7.0	6.4	7.0	6.5	6.0	6.5	5.5	6.5	6.4	6.6
新規利用者数	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	6
利用廃止者数	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	6
												稼働率 (%)	65.8%

・利用者の要介護度（平成 29 年 3 月末現在）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
利用者数	1	1	6	11	3	0	0	22

◆居宅介護支援事業所

平成 28 年度は居宅から介護支援専門員が 1 名瀬田地域包括支援センターへ出向する事に伴い新任の介護支援専門員の OJT に取り組んだ。多くの利用者を引き継ぐ形になったが、所属職員一丸となったフォローにより円滑な引継ぎが実施出来た。また、介護支援専門員の研修体系が変更され介護支援専門員実務者研修生 2 名の受け入れを行い内外の介護支援専門員の教育に携わる事が出来た。

平成 29 年度から開始される総合事業について担当している要支援利用者へ説明を行った。また地域福祉の窓口でもある青山学区、上田上学区の民生委員の方々との勉強会を通じて総合事業が開始される事について説明を行い制度が変わっても地域との介護の連携が出来るよう準備を進めることが出来た。今後は民生委員だけでなく地域の近隣事業所との連携を深める事で地域包括ケアシステムの構築に向けて歩みを進めて行く。

・利用実績（28年度末時点での介護支援専門員専門員4名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
給付実績件数	109	108	108	103	108	106	106	105	111	101	104	111	1280
介護予防数受託数	20	20	19	21	20	20	17	18	22	24	24	21	246
訪問調査受託数	11	7	13	8	13	5	5	4	4	4	7	8	89

・利用者の要介護度（平成29年3月末現在、給付実績者数に基づく）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	6	15	28	52	16	6	6	129

◆訪問介護センター

28年度は年間新規利用者12名を獲得（内訳として10月に他の訪問介護事業所閉鎖に伴い、その閉鎖事業所から利用者6名の紹介受け入れをしたことが大きな要因）、12年の訪問介護事業開始以来、ひと月あたりの実利用者が初めて30名となった。

利用者数の増加に合わせて、訪問介護計画書の見直しを行いヘルパー間でサービス提供内容の確認、統一化を図った。

・利用状況実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	23	23	23	23	23	22	27	28	30	29	29	30	310
延訪問回数	253	215	241	227	247	241	272	281	297	276	287	334	3171
延訪問時間数	247	221	248	231	242	240	265	274	289	268	275	320	3120
身体介護(%)	51.0	55.3	53.1	53.7	64.3	58.7	57.4	56.6	57.6	57.2	59.6	57.5	56.8
身体生活援助(%)	32.0	23.7	26.1	24.2	20.3	23.9	24.6	22.8	24.2	23.9	22.6	22.8	24.3
生活援助(%)	7.1	9.3	10.0	12.3	13.3	10.5	8.5	10.7	10.4	10.9	10.1	11.7	10.4
予防訪問介護(%)	9.9	11.6	10.8	9.7	4.6	4.5	9.6	10.0	7.7	8.0	7.7	8.1	8.5

・利用者の要介護度（平成29年3月末現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	1	3	4	15	5	1	1	30

◆グループホーム

28年度は長期入院者数の影響で低調な稼働率となったが、これまで以上に利用者一人一人に目を向けた個別性の高い外出を含めた日課づくりに取り組んだ。また、特養への早めの住み替え提案により特養への住み替えを選ばれた利用者が2名いらっしやった。

28年度からの新体制として両ユニットに、それぞれリーダーを任命し、管理者1名とリーダー2名による新たな管理体制をスタートさせた。まずは管理者、リーダーが思い描くグループホームの将来像の共有に向けコミュニケーションを深めることを大切にしたい1年であった。

・利用実績 (2ユニット 18人 内男性0名、女性18名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	17	17	17	18	19	18	17	17	17	18	18	18	211
延利用者数	505	524	500	519	509	488	506	510	527	550	504	558	6200
1日平均利用者数	16.8	16.9	16.6	16.7	16.4	16.2	16.3	17.0	17.0	17.7	18.0	18.0	16.9
稼働率 (%)												94.2%	

1、利用者年齢構成

70～79歳	3名	最高齢者	100歳
80～89歳	6名	最年少者	71歳
90歳以上	9名	平均年齢	88.1歳

2、新規利用者 5名 (入居前状況：在宅 5名 医療機関 0名)

3、退去者 5名 (退居後状況：特養入居 2名 医療機関 1名 死去 2名)

・利用者の要介護度 (平成29年3月末現在)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
入居者数	0	5	6	6	1	0	18